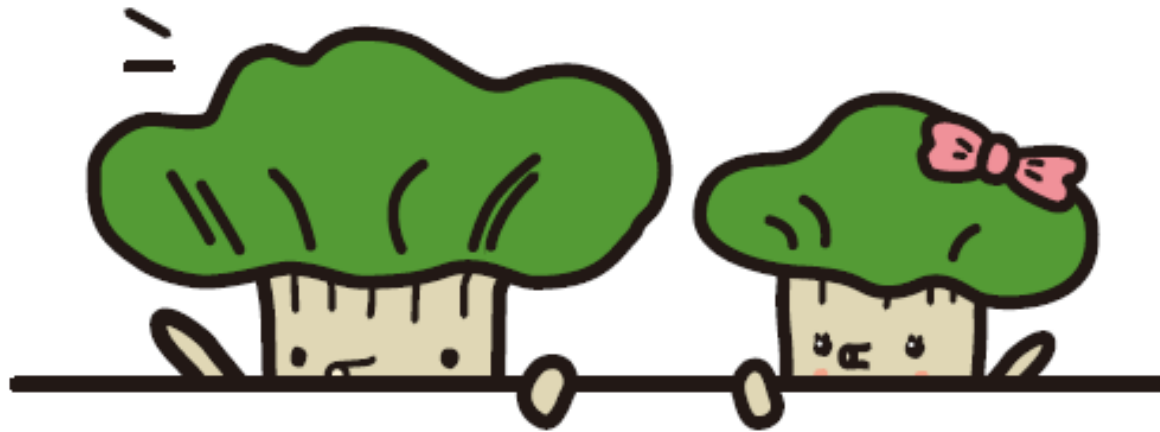


個人投資家向け会社説明会



つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社

取締役社長
宇根 高司
2019.12.17

証券コード 4968

本日の内容

1

当社の歴史

2

当社の強みと事業内容

3

中期経営計画の進捗状況

4

持続可能な成長を目指して

5

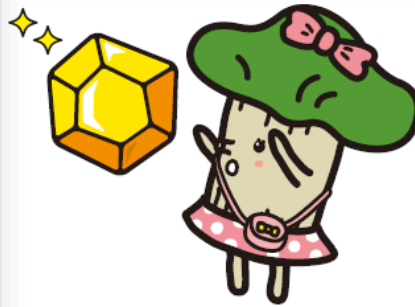
株主・投資家さまとの関わりあい

当社の歴史

ロジンと歩んで143年

ロジンとは松脂を精製してつくられる樹脂のこと。

松の木にキズをつけると、ネバネバした松脂がにじみ出てきます。



再生可能な天然資源！

岡山県とのご縁

「松」が、**荒川化学**と**岡山県**をつなげてくれました。



国産の松脂



マツタロウの森

→P23参照



水島工場

明治9年 大阪 道修町で創業

経営理念

個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する



看板（□に玉でカクタマと読む）



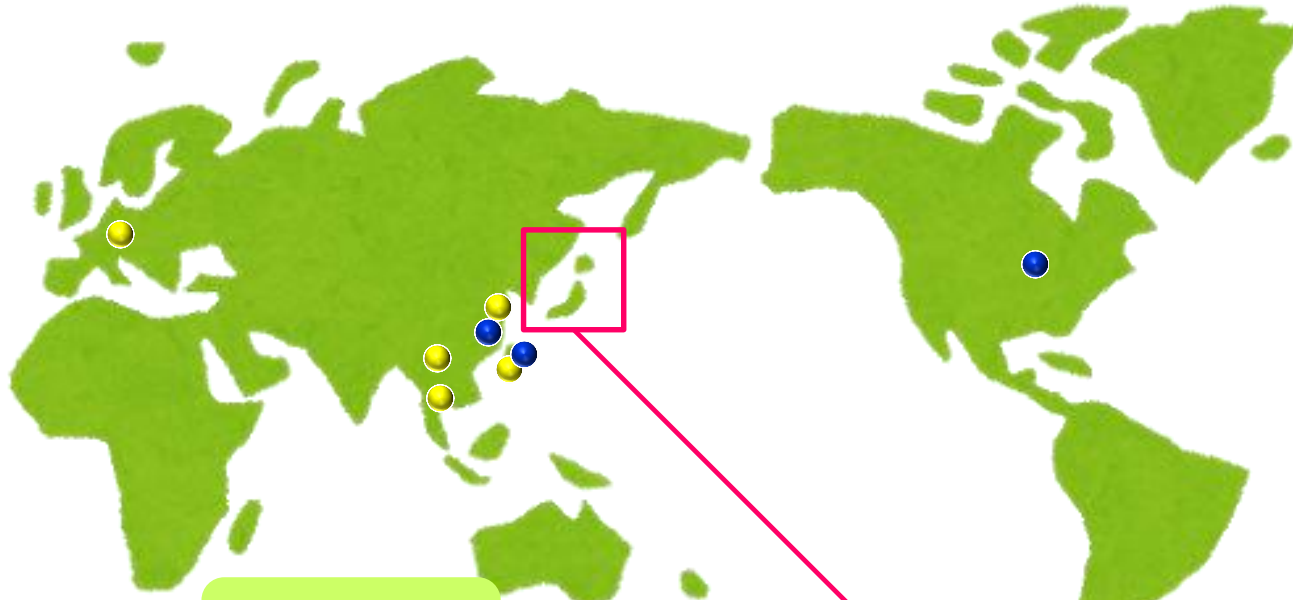
初代社長 荒川正太郎（前列中央）

道修町は
薬のまち！



当社の歴史VTRをご覧ください。
（約16分）

広がるグローバルネットワーク



海外事業所

● 製造・販売拠点

荒川ヨーロッパ（ドイツ）
広西梧州荒川（中国）
南通荒川（中国）
荒川ケミカル（タイランド）
台湾荒川

● 販売拠点

荒川化学合成（上海）
荒川ケミカル（米国）
日華荒川（台湾）
ボミランテクノロジー（台湾）

国内事業所

製造拠点

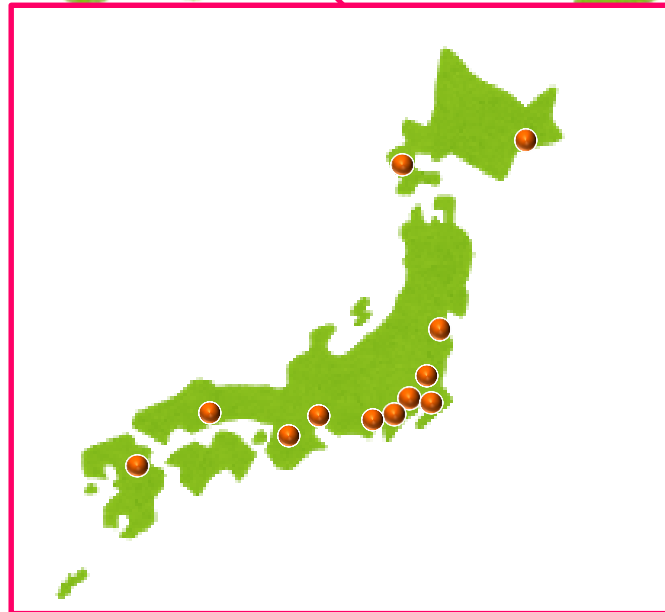
大阪工場
富士工場
水島工場
小名浜工場
釧路工場
鶴崎工場

研究所

研究所（大阪）
筑波研究所

販売拠点

本社
東京支店
名古屋支店
営業所 3



大阪から世界へ！



国内関係会社

ペルノックス（秦野）
高圧化学工業（大阪）
山口精研工業（名古屋）
千葉アルコン製造（千葉）
カクタマサービス（大阪）

当社の強みと事業内容

ココにも！つなぐ技術

私たちの技術は身近なところで使われています。
その特徴は、何かと何かを **つなぐ** こと。



つなぐ技術が機能を付与する

 印は主にロジン系製品

荒川化学のつなぐ技術

製紙薬品事業

紙力増強剤 丈夫にする

サイズ剤  にじみをふせぐ

コーティング事業

機能性コーティング剤 表面をまもる

印刷インキ用樹脂  綺麗に鮮やかに

粘接着事業

水素化石油樹脂
粘着・接着剤用樹脂  くっつくチカラを
コントロール

超淡色ロジン  高い安全性

機能性材料事業

精密部品洗浄・はんだ  安全、環境負荷低減

ユーザーの製品

紙



ディスプレイ



印刷インキ



粘着・接着剤



医療用他



電子材料他



荒川化学の長寿商品

- 高い技術力と品質で荒川ブランドを確立
- 豊富な技術の引き出しと、その応用で多様な要望に応える

ロジン系

根強い天産物
□ンヂス



- タイヤなどの合成ゴム重合用乳化剤として **業界標準**



世界オンリーワン製品
超淡色□ジン



- 環境に配慮した鉛フリーはんだ用フラックスの **業界標準**
- ライフサイエンス分野にも進出

石油系

紙のリサイクルを支える
紙力増強剤



- 国内で **業界トップクラスのシェア**
- ネット通販普及による段ボール増加で需要拡大

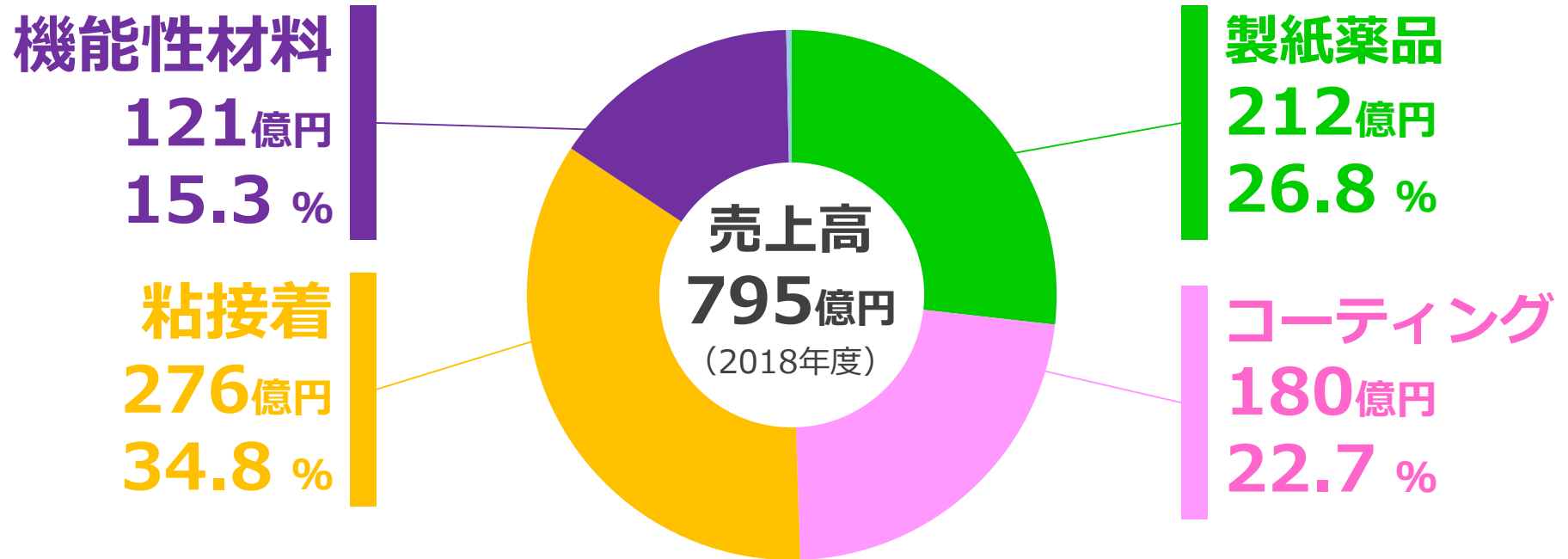


世界初（1965年上市）
水素化石油樹脂



- **グローバル商品**
- 世界的に紙オムツの需要拡大
- 千葉に原料からの一貫生産体制のための工場を建設中

事業セグメント



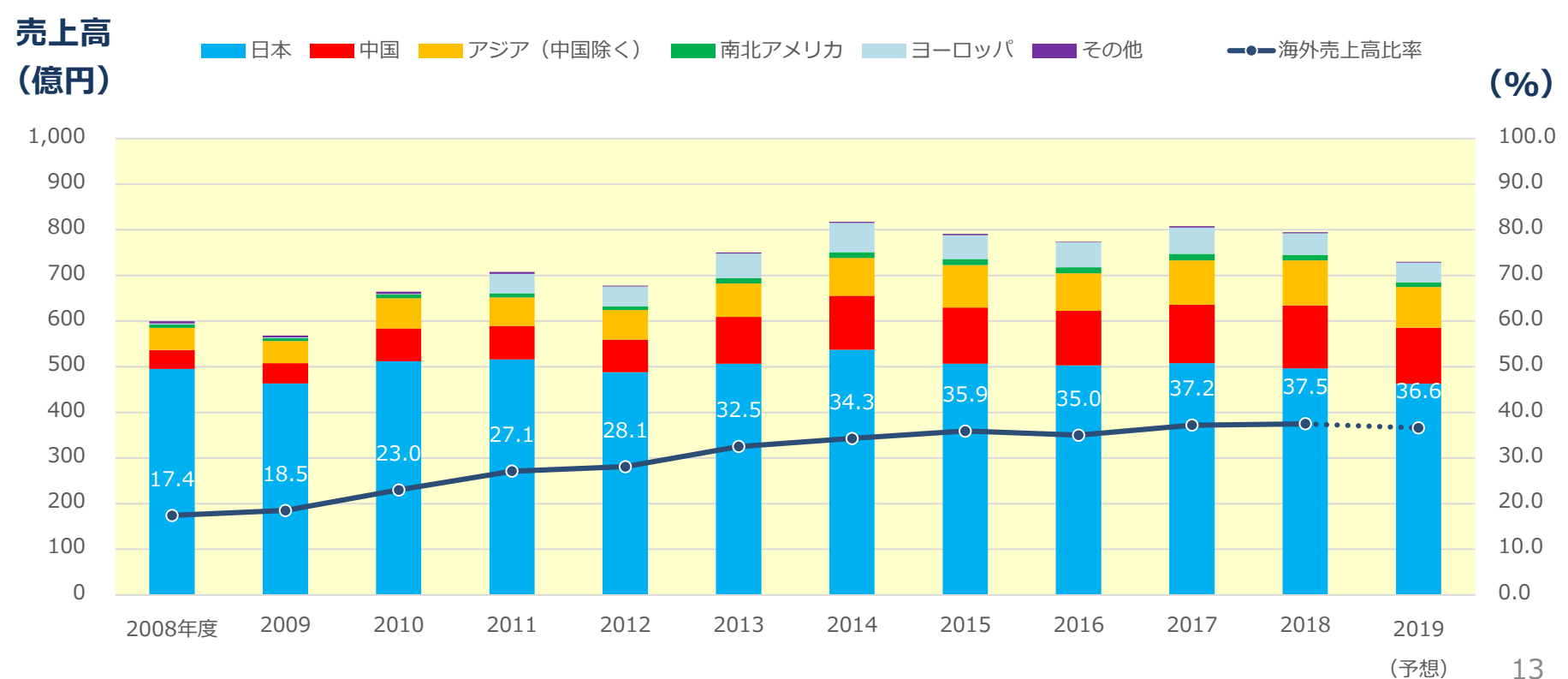
荒川化学のビジネスモデル

- 付加価値の高い素材と独自技術のノウハウを持つ
- 豊富な品揃え（ロジン系、石油系）
- 顧客ニーズを汲み取り、課題を解決する「ソリューション」型ビジネス

荒川化学を取り巻く環境

■ 成熟した国内市場では、製紙薬品 / コーティング / 粘接着事業で
業界トップクラスを維持

■ 成長する海外市場では、各事業でアジアを中心に事業拡大中

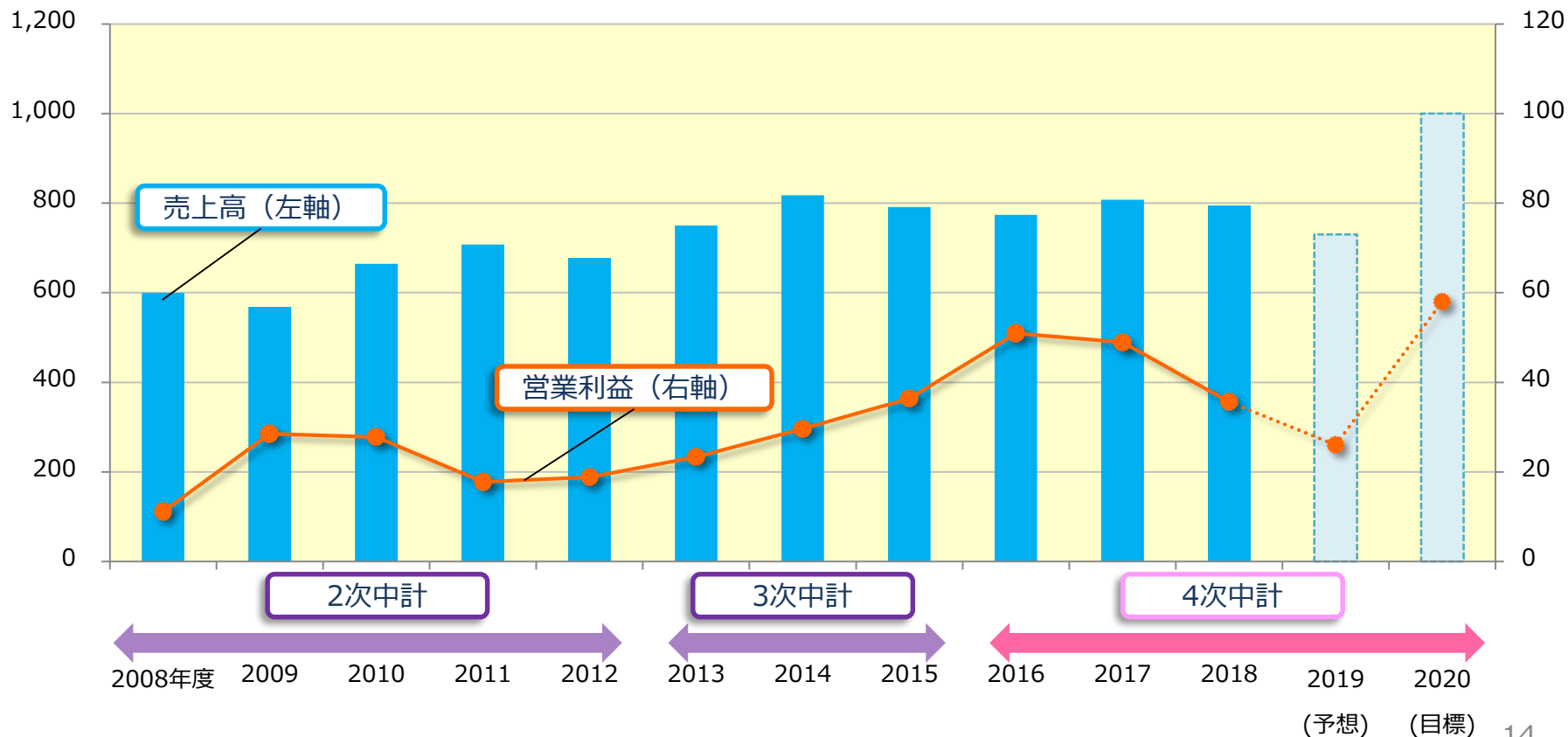


業績推移

- 米中貿易摩擦の影響などで光硬化型樹脂をはじめとする主力製品の需要環境が悪化
- ドイツのコンビナートが再度停止したことに加え定期修理もあり、水素化石油樹脂の採算性が低下

売上高
(億円)

経常利益
(億円)



中期経営計画の進捗状況

第4次中期5力年経営計画

Dramatic **SHIFT 1**

永続的な成長のため、劇的な経営資源の再配置や最適化により、事業の変革を実現し、全社“**1**”丸となって真のグローバル化を目指す。

(2016～2020年度)

外部環境

不安定で変化が激しく、先が見通せない

- 国内市場の縮小
- 原材料価格の変動
- 急激な為替変動
- 米中貿易摩擦の激化 など

重点施策と経営目標

① **SHIFT** 実現体制の構築

詳細は
→P32～34参照

② 事業の新陳代謝の実践

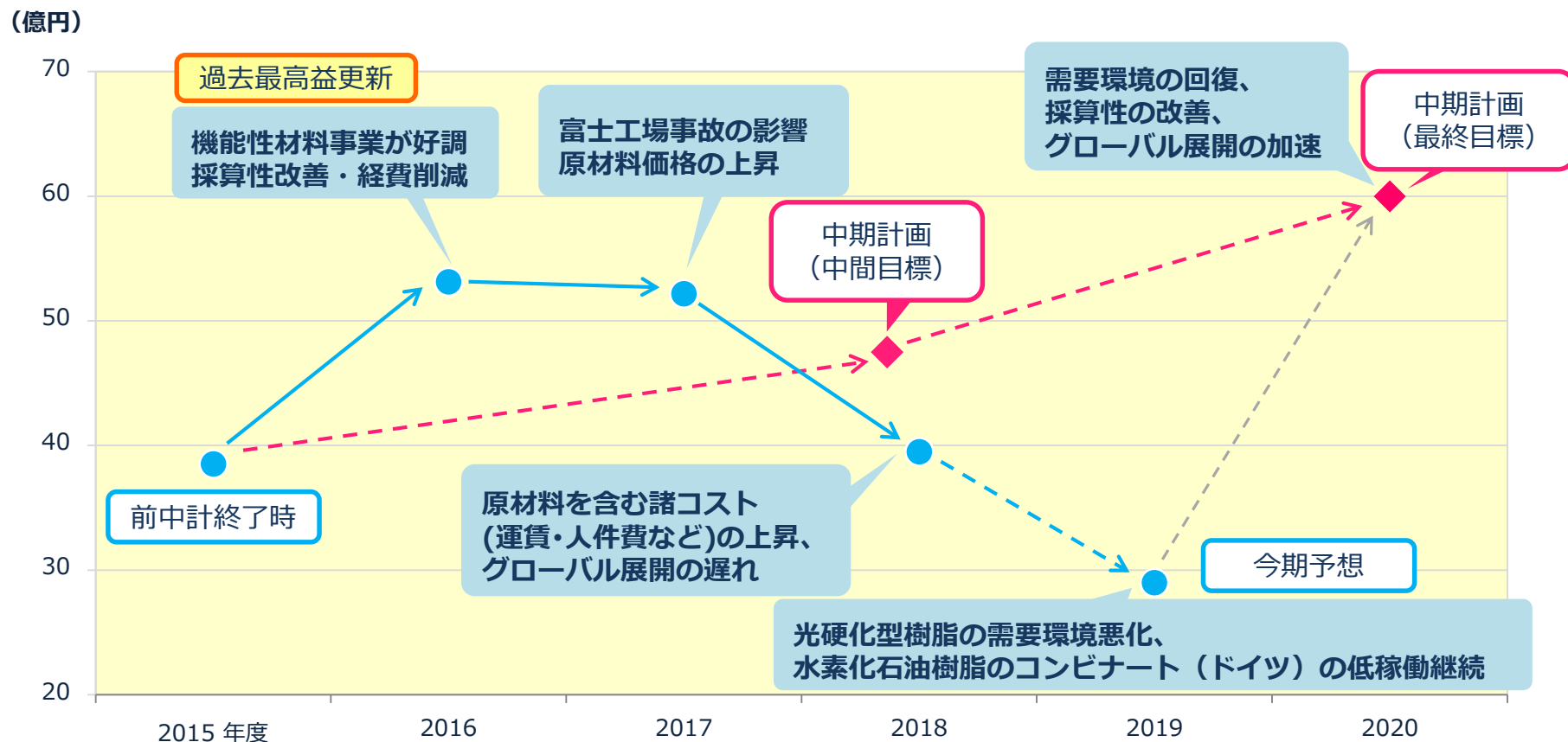
③ 真のグローバル化とガバナンス体制強化

(億円)

	2015年度 前中計終了時	2018年度	2018年度 中間目標	2020年度 最終目標	5カ年 伸率 (%)
売上高	791	795	880	1,000	+ 26.4
営業利益	36	35	46	58	+ 59.4
経常利益	38	39	48	60	+ 55.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	38	29	37	+ 60.1
ROE	5.0%	7.1%	—	≥6.5%	

進捗状況（経常利益）

足元では米中貿易摩擦による需要環境の悪化などもあるが、
中計の**基本方針は変更せず、事業の新陳代謝を加速していく**



真のグローバル化（重点施策）

- 2020年までに各分野でのアジアNo.1事業の獲得し、海外売上高450億円、海外売上高比率45%を目指す。
- さらに、2026年には世界No.1事業を有する真のグローバル企業を目指す。

市場・戦略	国	製品	施策状況
A S E A Nでの板紙需要の拡大に対応	ベトナム	紙力増強剤	生産拠点設立準備
中国での顧客ニーズにスピーディーに対応	中国	精密部品洗浄剤	洗浄実験室を有する東莞分公司を開設
グローバル需要への対応 原料からの一貫生産体制	日本	水素化石油樹脂	新プラントの起工式実施



東莞分公司開設



新プラント起工式

持続可能な成長を目指して

ESGの取り組み

荒川化学グループは経営理念のもと、化学メーカーとして安全・環境配慮を重視した経営を実践し、社会から認められ続ける会社を目指しています。

この考えは、国連の2030年目標であるSDGs（貧困、エネルギー、気候変動等の世界の課題に対し17の開発目標を示したもの）にも通じるものです。

当社は**ESG（環境・社会・企業統治）経営**を通し、**SDGs**にも関わりながら社会に貢献してまいります。



環境保全や技術開発による取り組み

開発目標		荒川化学が提供する価値
	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの促進を図る	暮らしの利便性、快適性を高める製品を提供し続けるための技術開発
	持続可能な生産消費形態を確保する	具体的な目標を掲げた製品ライフサイクルにおける化学物質の適正管理、産業廃棄物処理活動
	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	具体的な目標数値を掲げた温室効果ガス削減活動



荒川化学の働き方改革

S

Social
社会

G

Governance
企業統治

イキイキ・ワクワクと働ける環境へ

項目	活動内容
ダイバーシティ	◆女性活躍推進活動 正宗エリザベス社外取締役による女性社員との座談会 (本社・研究所・東京支店・工場・営業所・関係会社で実施) 東京ロジーナ倶楽部(東京支店の女性部会発信による社内交流会など) 富士工場 女性部会(社内交流、健康促進など) ◆男性の育児休暇取得(1ヵ月以上取得 累計4名)
健康経営	◆65歳定年制導入 ◆ライフログ(歩数、心拍数、睡眠時間など)を計測するウェアラブル端末を配付 ◆ラジオ体操、階段利用の推奨、給食の減塩化
SHIFT OVERTIME DAY	◆全事業所で週1回実施。社員のワークライフバランスの適正化
ハラスメント防止研修	◆あらゆるハラスメントへの理解度向上と未然防止のため全拠点階層別に実施



社会貢献活動



次代へつなぐ取り組み

開発目標	荒川化学が提供する価値
4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	◆「楽しく化学する」を基本に小学生対象の体験学習の実施 ◆ 若手・中堅社員の海外研修制度 ◆ 先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金制度
15 陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	◆ 地域の松林復元に寄与する 「マツタロウの森」プロジェクト他の植林活動 岡山県から毎年二酸化炭素森林吸収評価認証を受領 ◆ 岡山県倉敷市および小田郡矢掛町に西日本豪雨災害義援金

子ども化学実験ショー



森づくり



CO₂ 削減



義援金



ガバナンス体制強化



経営理念の共有と実践（※KIZUNA活動）

- KIZUNA活動の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する
- リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取り組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める

※KIZUNAは、“ARAKAWA WAY 5つのKIZUNA”の略称であり、当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの

改めて安全を「**まもる**」大切さを共有し、安全文化を醸成していく



価値観・行動指針



集合研修
(KIZUNAワークショップ)

株主・投資家さまとの関わりあい

株主総会・IR活動

株主・投資家さまと向き合える機会を設け、満足度や認知度の向上、信頼関係の構築を目指しています。



株主総会

項目	活動内容
株主総会	毎年6月本社を置く大阪で開催
決算説明会	年2回（6、12月）、東京支店で開催
個人投資家説明会	年に数回開催



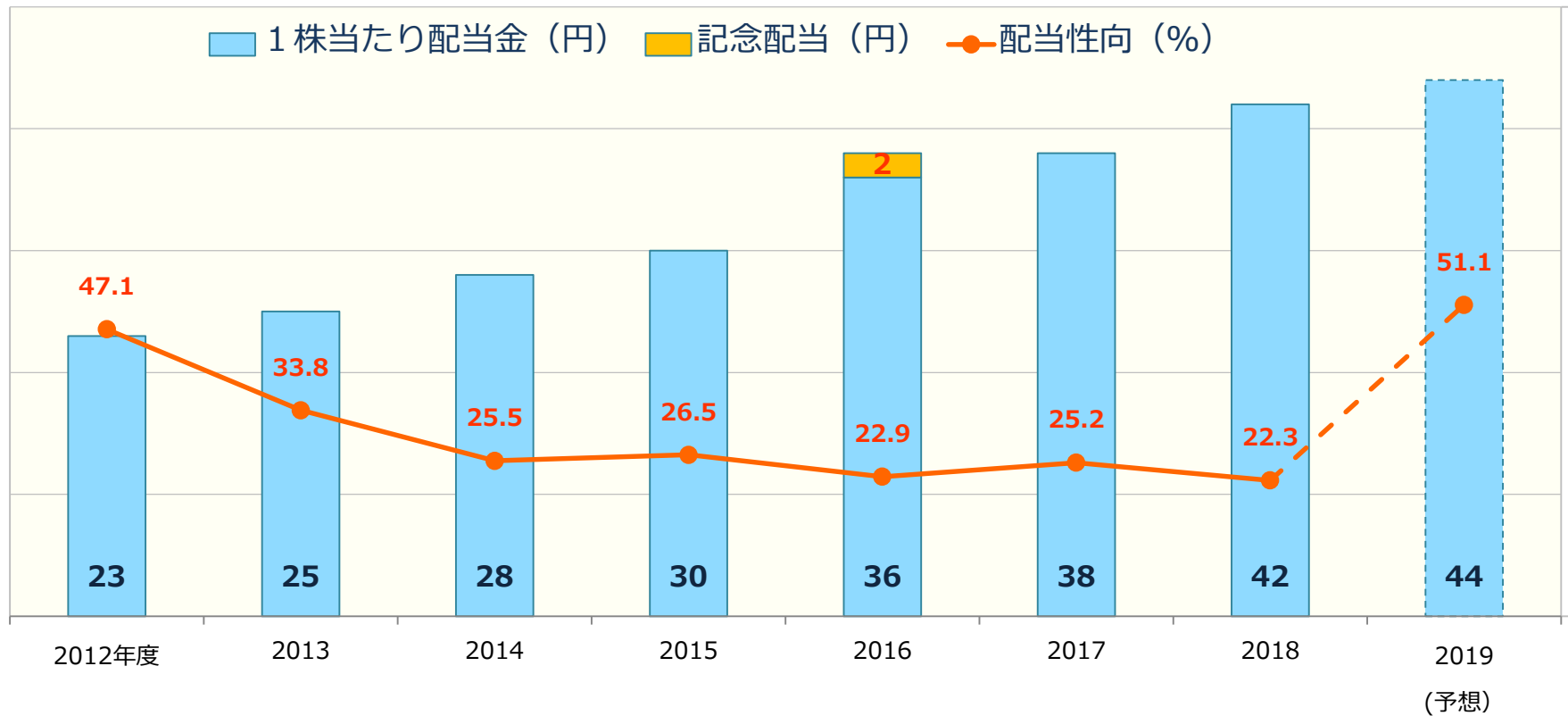
水島工場 & マツタロウの森



＜個人投資家説明会＞
2019年は
縁の深い岡山県で初開催

配当金の推移

配当性向は安定的、継続的かつ積極的を基本方針として30%を目指す



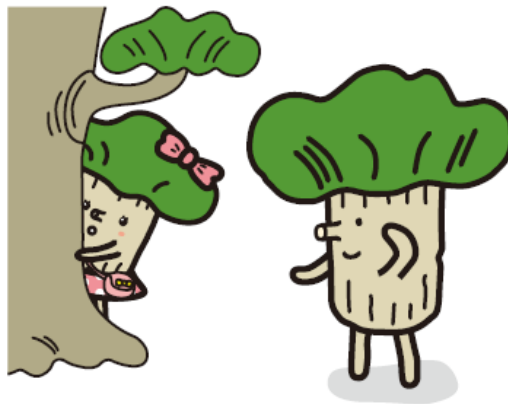
株価推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



參考資料



水島工場 TPM優秀論文賞 受賞

水島工場は1970年6月に設立、主力商品の水素化石油樹脂「アルコン」を生産している。当社で最も早く品質ISO・環境ISOの認証を取得、TPM活動（注1）にも取り組んでいる。

（注1）TPM活動とは、Total Productive Maintenanceの略称で全員参加による生産保全活動をいう

TPM賞とは…

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会主催のTPM賞は、製造プラントのメンテナンス技術（TPM および関連する管理技術、固有技術）の研究・開発を促進した成果を審査・表彰することにより、企業の体質革新・体質強化を図り、もって産業の発展に寄与することを目的とするものです。



年	水島工場のTPM活動
2001	活動開始
2004	優秀賞（第1類）
2011	優秀継続賞
2019	優秀論文賞

今年、優秀論文賞を受賞しました！
『安全文化を創り出す人間力と現場力
～ TPMによる変革について～』



第4次中計の基本方針

SHIFT 実現体制の構築と事業の新陳代謝の実践

1. **SHIFT** 実現体制の構築

いかなる変化にも臨機応変に対応し、永続的な成長を続けるために、経営資源の適正な配置により事業の変革を推進し、現状からシフトさせる。

2. 事業の新陳代謝の実践

SHIFT 実現体制のもと、各事業のミッションを明確にし、集中的、効率的な経営資源を投入することで事業の新陳代謝を促進する。

3. 真のグローバル化とガバナンス体制強化

2020年に海外売上高450億円、海外売上高比率45%の達成とアジアNo.1事業の獲得を目指す。さらに、創業150年を迎える2026年には世界No.1事業を有する真のグローバル企業への成長を目指す。また、ガバナンス体制を強化し、経営理念共有を通じて根幹の揺らぐことのない経営を実践する。

SHIFT 実現体制の構築

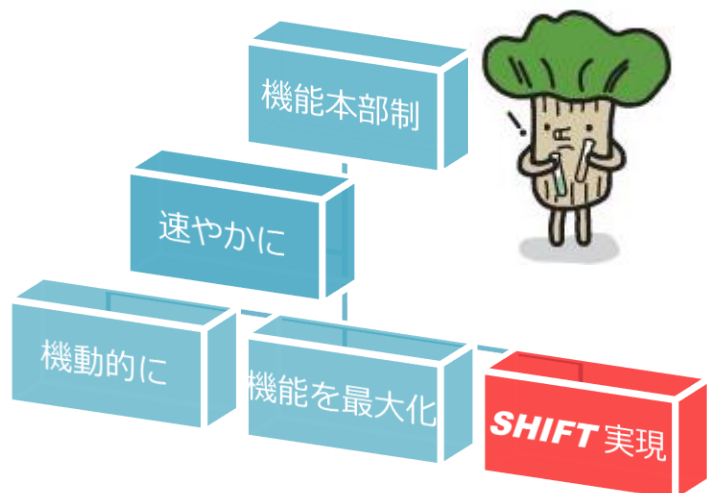
経営資源の再配置により事業を変革し、**環境の変化**や**顧客ニーズ**に対して**速やかに、機動的に**対応できる体制を実現する。



事業本部/研究開発本部/生産本部/管理本部を新設、
資材戦略部を加えた4本部1戦略部を中心とした**機能本部制**を導入。
(2016年4月に導入済み)

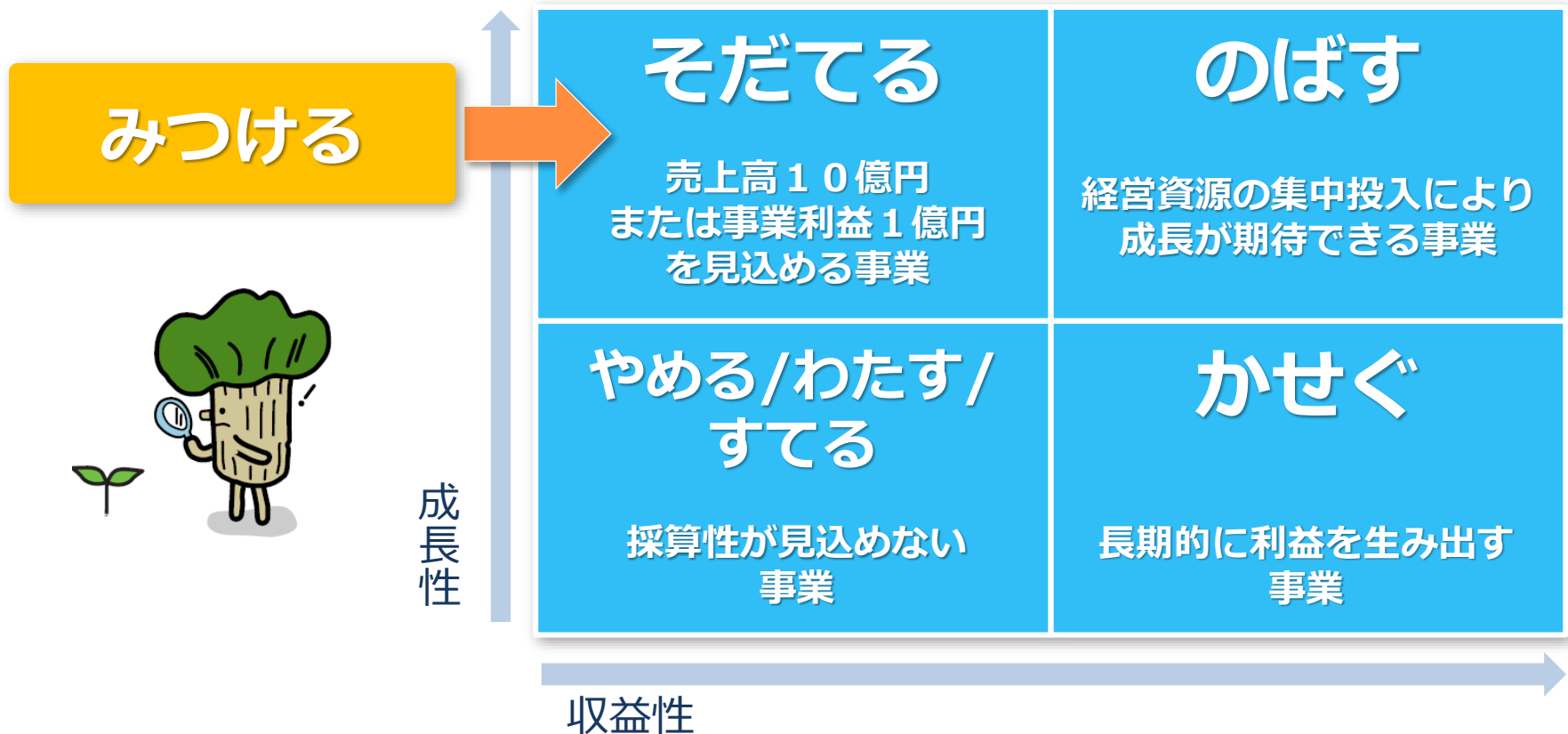


『果たすべき機能』を最大化



事業の新陳代謝の実践

- 機能本部制を導入し、環境の変化や顧客ニーズに対して速やかに、機動的に対応できる体制を構築。
- 各事業をミッションに分類し、**戦略を明確にする。**



連結指標

	2015年度	第4次中計期間 (2016年度～2020年度)
総投資金額（5年間累計）	約90億円 (3年間)	約300億円 (M & A 枠50億円含む)
減価償却費	27億円	40億円（最終年度）
研究開発投資	28億円	40億円（最終年度）
R O E	5.0%	6.5%以上（最終年度）
・収益性（当期純利益率）	2.9%	3.7%以上 収益力の向上
・効率性（総資産回転率）	0.9	1.0倍以上 資産効率の改善
・健全性（財務レバレッジ）	1.8	1.7～2倍 財務健全性の維持

当社グループにおいては、R O E（自己資本純利益率）について売上高当期純利益率を向上させることが最も重要なファクターであると考えています。

株式情報

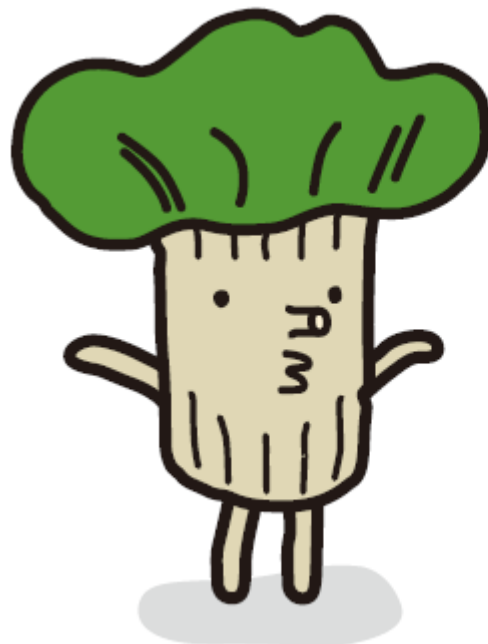
証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証1部
単元株	100株
株価	1,587 円 (2019年12月9日 15:00時点)
最低所要金額	158,700 円
配当利回り	2.77 %
P E R	18.62 倍
P B R	0.60 倍
発行済株数	20,652,400 株 (2019年3月末現在)
長期発行体格付	A - : 安定的 (J C R)
自己株式取得	413,900 株 (2019年12月3日時点)

沿革

1876年	(明治9年)	大阪で生薬商として創業
1914年	(大正3年)	鳴野工場を開設し、ロジンの製造開始
1928年	(昭和3年)	ロジン系塗料用樹脂の製造開始
1937年	(昭和12年)	ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
1954年	(昭和29年)	製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
1965年	(昭和40年)	水素化石油樹脂「アルコン」を上市
1967年	(昭和42年)	台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
1970年	(昭和45年)	水島工場を開設
1977年	(昭和52年)	荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
1995年	(平成7年)	中国に梧州荒川化学を設立
1999年	(平成11年)	大証第二部に株式上場
2003年	(平成15年)	東証・大証第一部に株式上場 日本ペルノックス（現 ペルノックス）が当社グループに加入
2004年	(平成16年)	中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
2008年	(平成20年)	中国に広西梧州荒川化学を設立
2010年	(平成22年)	ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
2011年	(平成23年)	中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立
2012年	(平成24年)	台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立
2014年	(平成26年)	台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立
2015年	(平成27年)	山口精研工業（名古屋）が当社グループに加入
2018年	(平成30年)	千葉アルコン製造（株）を設立
2019年	(令和元年)	荒川化学合成（上海）有限公司 東莞分公司を開設

マツタロウとロジーナ紹介

ふたりは、**松の妖精の子供**。ふだんは松林に住んでいるけど、ときどき街でも遊んでいます。松の木からロジンがとれることは知っていたけど、**こんなところにも役立っていたなんて！**と発見が多くて、街で遊ぶのがますます楽しくなってきました。かくれんぼが大好きだから、**あなたの近くにも隠れているかもしれませんよ。**



マツタロウ

2006年誕生



ロジーナ

2016年誕生

CM公開中！

CM「粘着テープ」編と「インキのにじみ止め」編をホームページで公開中です。
スマートフォンなどで添付のQRコードを読み取っていただくと、直接CMコーナーに
アクセスできます。動くマツタロウとロジーナをお楽しみください！



QRコード



QRコードを読み取るには、読み取り機能のある携帯電話か、スマートフォンをご利用ください。スマートフォンの場合は、専用のアプリをダウンロードする必要があります。



会社概要

■ 2019年3月末現在

商 号	荒川化学工業株式会社
所 在 地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代 表 者	取締役社長 宇根 高司
創 業	明治9年（1876年）
会 社 設 立	昭和6年（1931年）
資 本 金	33億43百万円
従 業 員 数	1,532名（連結）
主 要 取 引 先 （五十音順）	・ 王子ホールディングス ・ 関西ペイント ・ JSR ・ 東洋インキSCホールディングス ・ 日東電工



1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記